

今ありて

☆学校教育目標☆

「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成」
～多様性を認め合える、穏やかな教育環境づくり～



文責：新部操

※ブログ形式で学校の様子を発信しています。ぜひご覧いただき、ご家庭での話題となれば幸いです。

○ 生徒総会

6/10(金)生徒総会が開かれました。今年度の総会は、体育館からのLIVE映像をモニターに写し教室から参加する形式で実施しました。今年度の生活要望から「頭髪の規定及び制服等の校則の見直し」「四中タイムの見直し」の2点が議案にあげられました。両議案とも賛成多数で可決され、生徒会長から正式に要望書が学校へ提出されました。学校では、2点の要望について生徒とともに見直しを図っていくこととし、特に制服については「検討委員会」を立ち上げ、時代に合った制服を検討していくことになりました。

さらに6/13(月)に多様性と人権に関する講演会が実施され生徒たちは、今の学校生活の中での「自分らしさ」を深く考える時間となりました。「自分らしさ」とは、「ありのままの自分を好きになること」との生徒による感想が強く心に残りました。

これから活発な意見やアイデアが出され、生徒たちの考えでより良い学校生活が送れるようになることを期待します。



○ 四中ブロック「あいさつ運動」

四中ブロックでは、中山小・若宮小・四中の3校合同で年に3回、児童生徒の登校の見守りを兼ね地域の方々にもご協力をいただきながらあいさつ運動を実施しています。

今年度、一回目は、6/14.16.17の3日間でした。地域の所々で登校する児童生徒に「おはよう」の声をかけていただき、子供たちからも元気なあいさつが返ってきました。

こうして子供たちは、地域の大人の温かさを感じながら成長し、いずれは地域に還って行くのだと感じます。朝早くから街頭に立っていただきありがとうございました。今後とも子供たちの見守りをお願いいたします。



○ 修学旅行

6月26日(日)から28日(火)にかけ、京都・奈良方面へ3年ぶりの修学旅行へ行ってきました。異常な暑さの中、生徒たちは協力しあい行動し、良い思い出がたくさん作れたようです。

修学旅行では、猛暑が続き大変でしたが、一人一人自分の役割に責任を持って活動し、無事に帰ってくることができました。今回の経験を残り少ない学校生活に活かし、仲間との絆をより深めていきたいと思います。

修学旅行実行委員長 3-3 加藤 怜



○ オープンスクール

5月26日(木)27日(金)の2日間オープンスクールを開催しました。予約制や平日にもかかわらず、約280名の保護者の皆様に来校いただきました。体育祭が延期になりタイトな日程となってしまいましたが、授業の様子はいかがだったでしょうか？



<授業参観アンケートより>

- 子供たちのちょっとした言葉にも耳を傾けてくれているように思いました。
- グループでお互いに話し合う様子がうかがえてよかった。
- めあての内容が生徒の興味を引くものだったと思います。
- 黒板やモニターなどを使われてわかりやすかった。
- 棚のカーテンの工夫は良いと思った。
- △ 時間的な余裕がなく厳しそうだった。進行が速いので予習も必要だと感じた。
- △ オープンスクール時にテストはいかがなものか。
- △ 一部生徒がうるさく授業が滞る場面がある。忘れ物が多い。
- △ 寝ている子がいた。わかっているも手が挙がっていない。
- △ 換気が少なく心配になりました。
- △ スクリーン(モニター)の文字が小さく、後ろの席からは見えないのでは？

たくさんのご意見ありがとうございました。引き続き研鑽に努めてまいります。

○ 時事問題バトルⅠ

市川市の小中学校には、活字離れの防止や国内外の出来事に少しでも興味を持てるように市川市の新聞協会から毎日全学級に数社の新聞が配布されています。そこで本校では、年に4回「時事問題バトル」と銘打ち、その時期の時事に関する問題20問に全生徒が挑戦しています。今回の平均は、1年生4.8点、2年生5.5点、3年生4点という結果でした。最高得点の20点は2名(いずれも3年生)でした。過去の年間チャンピオンは72点(1回平均14.4点)です。日ごろから新聞やニュースに興味を持つようにしましょう。高校入試の面接でも結構聞かれることがありますよ！

○ Mail delivery 郵便配達ボランティア

今年度から地域と中学生との繋がりを深める試みとして、自治会長宅や幼・保育園等にその地域に居住する生徒達がボランティアで学校だよりなどのお知らせをお届けしています。現在のところ約30名のメッセンジャーが活動してくれています。今後も募集していきます！



～穏やかな風～

先日の雨の朝、登校の見守りを終え校長室に戻ってくると携帯電話が鳴りました。内容は、「四中生が大泣きしている小学生を監護してくれている。」との事。たまたま通りがかった退職された校長先生からの情報です。3年生の男女が登校途中に大泣きをしている1年生の女の子の面倒を見て小学校まで送り届けたようです。すぐに小学校の校長や保護者からのお礼の電話をいただきました。

さりげないやさしさから出る行動ってかっこいいと思います。憂鬱な雨の朝にきれいな虹が掛かりました。